

広報資料
(大学同時)



京都市立芸術大学
Kyoto City University of Arts



12月13日から約3週間※、最優秀賞のデザイン
が市内のマクドナルド全店舗で使用されます！！

令和5年12月12日
京都市環境政策局
〔担当：環境企画部環境総務課〕
電話：075-222-3450
京都市総合企画局
〔担当：総合政策室SDGs・市民協働推進担当〕
電話：075-222-3379
公立大学法人京都市立芸術大学
〔担当：連携推進課事業・広報担当〕
電話：075-585-2006

「生物多様性×食の循環」について考えて、行動するプロジェクト

「トレイマット デザイン コンテスト」結果発表

SDGsの目標（主に「14 海の豊かさを守ろう」、「15 陸の豊かさを守ろう」）で掲げられる「生物多様性」は、「食」を通じて私たちの生活にも密接に関わっています。

京都市と京都市立芸術大学は、日本マクドナルド株式会社と連携し、「生物多様性×食の循環」について考え、行動するプロジェクト「トレイマット デザイン コンテスト」を、昨年度に引き続き実施しています。

この度、一般の方の参加によるオンライン投票で得票の多かった最優秀賞及び優秀賞2作品、並びに、優れた企画・デザイン等で選考された京都市長賞が決定しました。

最優秀賞のデザインを採用したトレイマットは、12月13日（水）から約3週間※、市内のマクドナルド全店舗にて使用されます。また、京都市長賞作品は令和6年1月に環境学習施設『さすてな京都』で展示いたします。ぜひ学生の作品を御覧いただき、生物多様性や食の循環について考えるきっかけとしてください！

※ 最優秀賞のトレイマットの使用は、店舗により無くなり次第終了する場合があります。

記

1 コンテスト結果

総投票数：1,272件、投票期間：令和5年11月1日（水）～11月8日（水）

＜最優秀賞＞^{ふじもと}藤本 ^{あかり}朱莉 さん（美術学部デザイン科 2回生）の作品



＜制作者コメント＞

食品からプラスチックまで、幅広く行われているマクドナルドのリサイクル。案外身近なところにめぐりめぐっているのと共に、環境にやさしく私たちの食事を支えていることを知ってもらいたいと思い制作しました。これからも続いていく自然と人とのやさしい関係を表現すべく、楽しげで明るい世界観のあるトレイマットになるよう目指しました。

<優秀賞：2点>

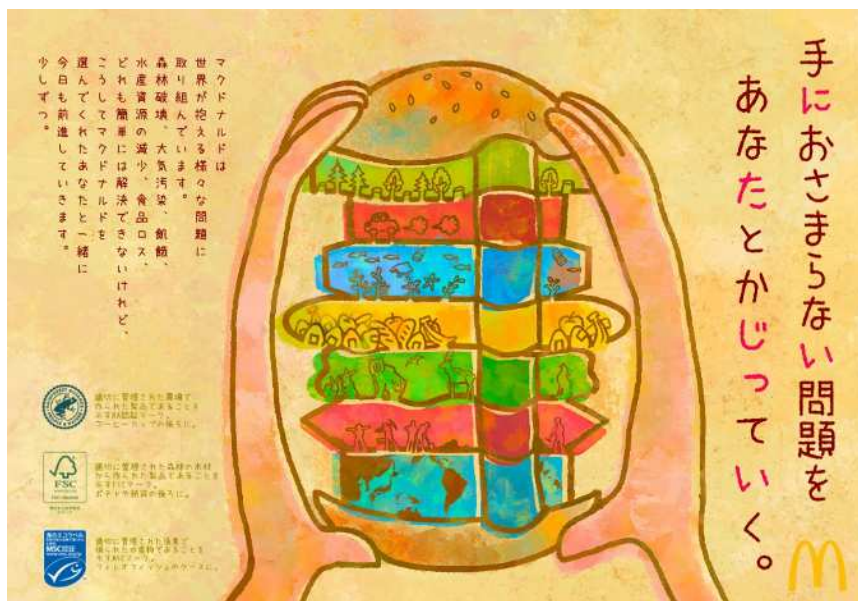
なかむら さき
中村 早希さん（美術学部デザイン科 2回生）の作品



<制作者コメント>

マクドナルドで食事をする事で廃棄物になるはずのコーヒー豆かすが再資源化され、新しいレタスを育てる大切なたい肥になること、お客様のまた次の食事につながることを描きました。これからも自然や地域の人の笑顔を守る活動をしているマクドナルドで食事がしたくなるようなデザインを心掛けました。

おくむら
奥村 なつみさん（美術学部デザイン科 2回生）の作品



<制作者コメント>

森林破壊や大気汚染、水産資源の減少、食品ロスなど、積み重なった世界の問題を少しずつかじっているという絵です。マクドナルドという子供の頃から親しんできたレストランが、あまりに大きく私たち個人の手には到底おさまりきれないこれらの問題と私たちを実は繋いでくれていること、そして問題をかじって少しずつ、でも着実に世界を前進させているのはマクドナルドを食べている他でもない自分自身なんだと気づいて欲しいという願いを込めました。

かなや みか
＜京都市長賞＞金谷 美佳さん（美術学部デザイン科 2 回生）の作品



＜制作者コメント＞

自然再興（ネイチャーポジティブ）の世界目標グラフを、マクドナルドのポテトで表現しました。ポテトグラフを登るのは京都の天然記念物など多種多様な生物、植物たちで、四季のイメージを持たせつつ、つながりを感じるデザインにしました。

＜選考委員会委員長コメント＞

本作品は、生物多様性の損失を食い止め、回復させる（ネイチャーポジティブ）という世界目標のグラフを、マクドナルドの食材で表現し、京都市の多種多様な生き物を、動きをもって配置することで、生物多様性保全に向けた行動を社会全体に対して促すものとなっているところを評価し、京都市長賞に最もふさわしい作品として選考いたしました。

2 「トレイマット デザイン コンテスト」プロジェクトについて

（1）実施内容

京都市立芸術大学の学生が食の循環と生物多様性に関する講義を受けてデザインした作品のうち、一次選考で選出された16作品の中から、一般の方が参加するオンライン投票で最優秀賞・優秀賞を、また、特別賞として京都市長賞を、それぞれ決定しました。

（2）実施経緯

京都市では、「自然共生社会」など「持続可能な社会」の実現に向け、京都市生物多様性プラン（2021-2030）に基づき、生物多様性の保全と持続可能な利用の取組を推進しており、京都市循環型社会推進基本計画（2021-2030）（京・資源めぐるプラン）では食品ロスの削減を進めています。

京都市立芸術大学は、「2030年の私たち」「2050年の地球」に向き合う独創的な芸術家を育てることを目標の一つとし、私たちの持続可能性を考え、創造と循環が調和する未来への希望を育てていくことを目指しています。

日本マクドナルド株式会社は、食を提供する企業として、いつまでも美味しいお食事をお届けしたいと願い、お客様に提供する食材・資材は可能な限りサステナブルな食材・資材を調達しています。

本プロジェクトは、この3者の想いが一致し、実現したものです。

（3）参加学生

京都市立芸術大学 美術学部 デザイン科 23名

（4）表彰式

令和5年12月12日（火）午後3時45分～ マクドナルド竹田街道店にて実施

（5）賞について

最優秀賞の作品は、12月13日（水）から約3週間、市内のマクドナルド全店舗で実際に使用されます。

京都市長賞（特別賞）は、本市職員で構成された選考委員会により、「生物多様性×食の循環」「デザイン性」「地域性」「行動の促進」の4項目において優れた評価を受けた作品に贈られ、作品は令和6年1月に京都市南部クリーンセンター環境学習施設『さすてな京都』で展示します。

3 参考

本プロジェクトは、京都超 SDGs コンソーシアムの取組の一環として、実施しています。

京都超 SDGs コンソーシアムとは、SDGs 先進都市である京都市をフィールドに産学公が連携し、SDGs の達成に向けてともに考え、行動し、発信する「京都 産学公 SDGs プロジェクト」を推進している組織であり、本件の日本マクドナルド株式会社をはじめ、京都大学、京都市、リコーなど23の団体で構成されています。

資源循環や省エネ・創エネに関する取組、中山間地域の活性化、持続可能性・SDGs をテーマにした教育プログラムの開発等、SDGs の社会実装を目標とした取組やシンポジウムや博覧会等による発信・情報交換を行っています。



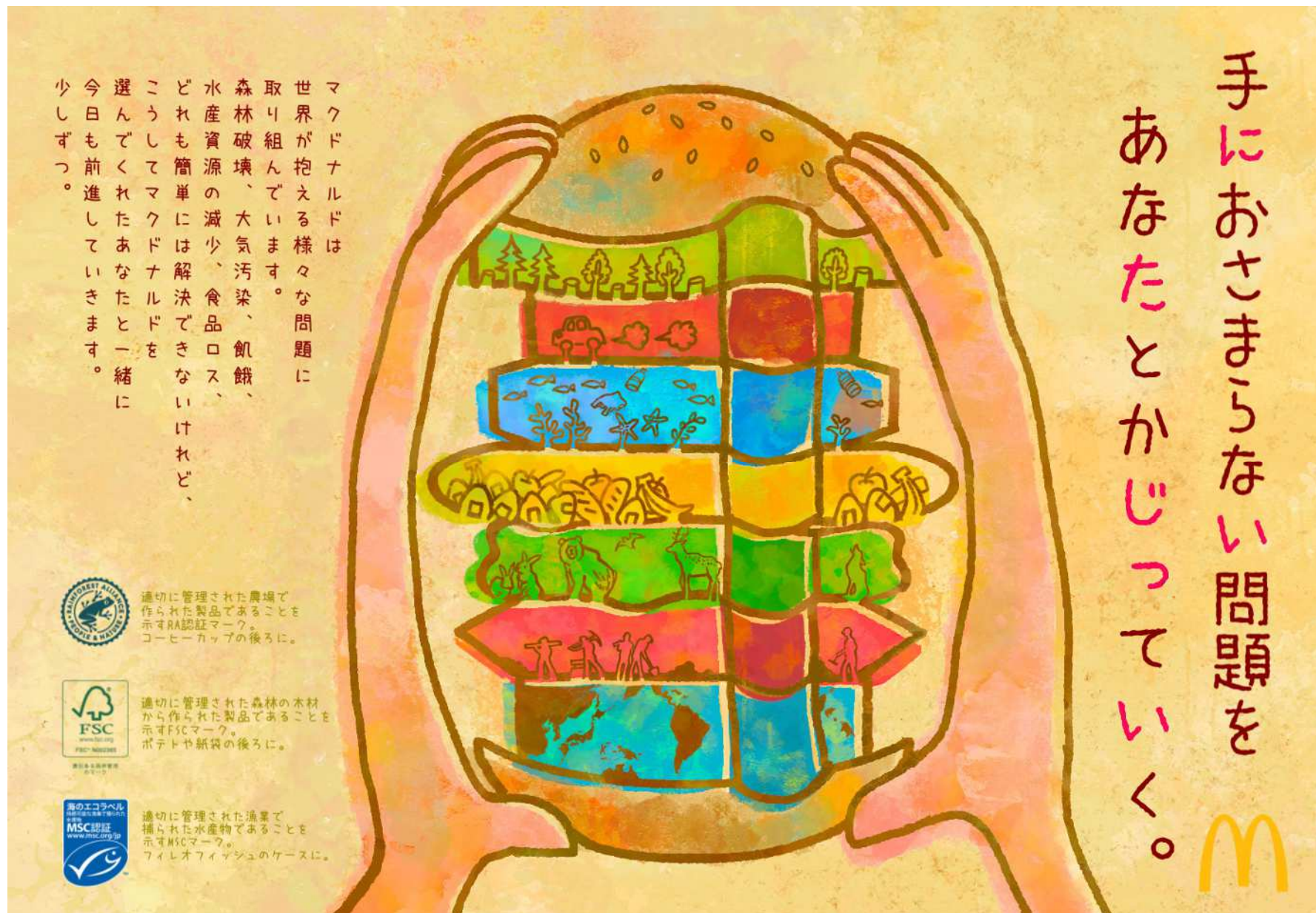
＜最優秀賞＞^{ふじもと}藤本 ^{あかり}朱莉 さん（美術学部デザイン科 2 回生）の作品



＜優秀賞＞^{なかむら} ^{さき} 早希さん（美術学部デザイン科 2 回生）の作品



<優秀賞> ^{おくむら}奥村 なつみさん（美術学部デザイン科 2回生）の作品



＜京都市長賞＞^{かなや みか}金谷 美佳さん（美術学部デザイン科 2回生）の作品

